

# 葉山 古山 音楽会

フラウト・トラヴェルソ  
菅きよみ  
歌と話 辻康介  
楽器解説 大島徳彦  
館内案内 柴田結



## フラウト・トラヴェルソ アンティークフルート物語

第3回音楽会テーマ

### Early Music in Antiques

ハーフィインバー様式の洋館でのノスタルジックで豊かな「プライベートな音楽会」。今回は、一七世紀末から一八世紀後半に活躍した楽器「フラウト・トラヴェルソ」を特集します。

当時は縦に構えるリコーダーをフラウト（フルート）と呼ぶことが多い中、あえて横に構えるフラウトという意味で「横のtraverso」という形容詞が付けられ、その演奏は貴族の嗜みでもありました。

フラウト・トラヴェルソの第一人者の演奏で、ストラディヴァリウス並みのオリジナル銘器の音色を、国登録有形文化財でもある旧足立邸の空間で味わえます。ウエルカムティーでのお出迎えや館内案内など私的に「お呼ばれ」した感覚で特別な時間を過ごしてください。

2024 令和6年  
5月17日 金  
5月18日 土  
5月19日 日  
1部 1部 1部  
2部 2部 2部

第1部 開場 10時30分 閉場 13時00分  
第2部 開場 14時30分 閉場 18時00分  
15時00分 ↓ 17時30分

開場から開演までの間、TEACIANによるウエルカムティーサービスがあります。開演前・終演後の各30分の間、ベルベットソットのアンティークやTEACIANの茶葉も販売いたします。

使用楽器  
▽一六世紀ウエローナレブリカ（タルディーノ）製作二〇〇七年▽オトテール一八世紀初期フランスレブリカ（総象牙杉原広一製作二〇〇九年）▽ノース一八世紀初期パリオリジナル（総象牙）▽エロッテンブルグ一七二五年ブリュッセルオリジナル▽J.ステインスビー一八世紀半ばロンドンオリジナル▽作者不詳一八世紀後半フランスオリジナル  
この他一八〜一九世紀のオリジナル及びレブリカ楽器をご覧ください。

会場 旧足立邸（神奈川県三浦郡葉山町）  
JR「逗子」駅または京浜急行「逗子・葉山」駅からバス乗車約一〇分。「向原」バス停降りてすぐ。お車も可。アクセス詳細はご予約ページをご確認ください。  
料金 各回一万二千元（ウエルカムティー付）

ご予約  
https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02wii2vy91m31.html  
お問い合わせ  
Velvet Knot  
info@velvetknot.com  
Da Nemo  
musicadanemo@idoud.com

## 音楽会開催によせて

古い洋館に住まうことを目指し旧足立邸を2020年に継承、家族4人での葉山暮らしが始まりました。90年程前の建物でありながら大切に守られてきた本邸は驚く程状態が良く、趣は当時のままです。私たちはこの先、魅力を損なうことなく維持し続ける為に、より良い形での進化を研究、模索していきます。私たちが以前より収集しているアンティークは、もともとこの洋館に備え付けだったのでというくらいびったりで、日々の暮らしをより豊かなものにしてくれます。2022年、旧足立邸が国登録有形文化財となった記念として始めたこの古楽音楽会も、ご好評いただき今回第3回を開催する運びとなりました。多くの方から本邸にお越しになりたいとの言葉を頂戴しておりましたので、このような機会を設けることが出来嬉しい限りです。特別な空間でお聴きいただく特別な音楽を、ゆったりとした時間の中で、どうぞお楽しみください。音楽会に参加される皆様には本邸の各部屋をご案内いたします。(柴田結)



## 建築紹介

旧足立邸は、実業家 足立正氏の別荘として1933年(昭和8年)7月に竣工しました。設計は早稲田大学大隈記念講堂や日比谷公会堂を手掛けた佐藤功一氏によるもので、主に公共建築に携わった同氏の住宅作品は現存するものが極めて少なく、大変貴重な建築遺産です。外観は柱や梁を外部に露出したハーフィンバー様式、内部は洋室と和室によって構成される和洋折衷様式が採用されており、大正時代以降の住宅建築における流行を取り入れたものとなっています。ハーフィンバー様式は中世以降のイギリスにおける住宅建築に多用されており、その意味で旧足立邸はイギリス風建築といえます。終戦後はGHQによる接收を受け、その後も幾度かの継承がなされましたが、浴室等の設備面を除いて大規模な改修が行われることなく、現在も創建当時の姿を残しています。2022年、国登録有形文化財に。

## 演奏曲目

A. アグリコラ  
打ちひしがれた女のように

J.M. オトテール  
エールとブリュネットより

J.S. バッハ  
無伴奏フルートのためのソナタ イ短調 BWV1013

G. テレマン  
ファンタジア第3番 ロ短調 TWV40-4

C.P.E. バッハ  
無伴奏フルートのためのソナタ イ短調 Wq132, H562

ドゥヴィエンヌ  
プレリュード ホ短調  
ソナタ第3番ホ短調からアダージョ

演奏曲目は変更になる場合があります。

## CAST紹介

### 菅きよみ Kiyomi Suga

10才よりリコーダーとフルートを故若林正史氏に師事。16才でバロック・フルートに転向し、有田正広、バルトルド・クイケン、マルク・アンタイ等の各氏に師事。桐朋学園大学とブリュッセル王立音楽院を卒業。1999年ブルージュ国際古楽コンクールにて3位入賞。アニメ・エテルナ、ラ・プティット・バンドやその他のバロック・アンサンブルのメンバーとして欧州各地で演奏。2007年に帰国し、現在バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ、ルネサンスフルート・コンソート「ソフィオ・アルモニコ」のメンバーとして演奏会やCDの録音を行う。ミュージック・スクール「ダ・カーポ」講師。

### 大島徳彦 Tokuhiko Oshima

20年程前にオリジナルの貴重なフラウト・トラヴェルソ(J.H. Rottenbrgh1725年制作)を有田正広氏から譲り受け、それ以来オリジナル(当時制作された)楽器の魅力に取り憑かれる。フラウト・トラヴェルソを有田正広、菅きよみ、前田リリ子師に師事現在に至る。サラリーマンを経て退職後、2009年に日本初のプロフィショナル奏者によるオリジナル楽器オーケストラ「クラシカル・プレイヤーズ東京(有田正広 音楽監督)」を立ち上げ事務局を設立。主に西洋アンティーク、中でもブロンズ彫刻を収集。絵画制作は初期ルネサンスの金箔テンペラ画の模写等古典絵画から学び創作活動をし毎年個展を開催している。

### 辻康介 Kosuke Tsuji

国立音楽大学楽理科卒、同音楽研究所研修課程修了。ミラノ市音楽院バロック声楽科2年専門コース修了。声楽を牧野正人、C.カヴィーナ、R.バルコーニらに、演奏理論をD.フラテッリらに師事。モンテヴェルディ「オルフェオ」のオルフェオ役(宮城聡、安田登、牧野正人らの演出)。「星座へ」(ふじのくに世界演劇祭2022) 演者。「辻康介と葉山古楽婦人会」では葉山在住の音楽家による地産地消の音楽活動を試みている。都市楽師プロジェクトにも度々参加。フォンス・フローリス古楽院、聖グレゴリオの家講師。

### 柴田結 Yui Shibata

旧足立邸オーナー。武蔵野美術大学にて空間演出を専攻し、卒業後はアンティークショップに約9年間勤務。これまで、アンティークで構成した空間演出や大規模人形展を幾度に渡りプロデュースしてきました。2018年Velvet Knotを設立、- 非日常に満たされた日常を - をテーマに欧州各地で買い付けた西洋アンティークを用いて独自の世界観を表現。自らの感性に触れるもの、美しいもの、「本物」という存在を追求し、アンティークショップという既存概念にとらわれずに活動しています。SNSでは旧足立邸のオーナーとして葉山の洋館での暮らしを発信。Instagram/X @velvet\_knot

主催・企画・制作：Velvet Knot×DaNemo 協力：TEA CLAN 都市楽師プロジェクト グラフィックデザイン：鷲野宏デザイン事務所

Velvet Knot × Da Nemo  
velvetknot.com musicadanemo.com